

世界デザイン博入場者の特性分析

名古屋市役所 正員 ○伊藤 禎浩
名古屋工業大学 正員 松井 寛
名古屋工業大学 正員 藤田 素弘

1. はじめに ここ数年の間に全国で〇〇博と名をうったイベントが催されてきた。これらのイベント（博覧会）は、開催期間中に多くの観客が訪れるが、特に都市部で行なわれるイベントでは日常交通にイベントによる交通が重なるため、交通渋滞などが発生し観客や地域住民に弊害をもたらす可能性がある。そのため、イベント時の交通計画は、イベントの成否をも左右する重要な課題となっている。しかしながら、イベント時の交通は、非日常的自由目的交通に属し、家族や友人などと動くグループ行動も多く見られ、交通機関についてもタクシーや観光バスなどが使われやすいなど特殊な交通であるため、まだ不明な部分を多く残している。そこで、本研究では、平成元年に名古屋で開かれた世界デザイン博覧会での交通アンケート調査を集計し、イベント交通について一考察を行うものである。

2. 世界デザイン博覧会「輸送交通実態調査」の概要 世界デザイン博覧会開催中（平成元年7月15日～11月26日）に交通を主体としたアンケート調査「輸送交通実態調査」が行なわれた。調査は8月と10月にそれぞれ平日と休日に1回づつ行われたもので、調査項目は、個人属性、代表交通手段、会場間回遊交通手段など、イベント交通を主体に調査されたものである。

3. アンケート集計結果 会場入場者は、平日はほぼ横ばいで、休日に極端なピークが現れる。また、休日においては家族など同伴者を伴った入場者が多く見られること、平日は日常の交通に重なることなどから本研究では平日と休日との違いを見ることを目的にアンケートを集計した（集計データは10月調査のものを利用した）。以下集計結果を示す。

①同行者および同行者数 同行者の構成比を表-1に示す。

表-1 同行者の構成比

同行者のタイプ	平日	休日
1人	16.2%	5.6%
家族	45.2%	68.3%
友人・知人など	37.5%	24.7%
その他	1.1%	1.4%
合計	100.0%	100.0%

平日、休日ともに家族の割合が高く、休日では約7割を占めている。家族の内訳は平日は夫婦のみの人が半数を占めているのに対し、休日は夫婦、子供など1世帯で来る人が高かった。また、1人でくる人は平日が高く、平日・休日の違いがうかがえる。同伴者数別構成比を図-1に示す。平日は2人づれが多いのに対し、休日は3人以上で平日に比べ割合が高くなっている。

②会場へのアクセス手段 デザイン博は3会場で催され、3

会場とも地下鉄に近く、また自動車に対してパーク&シャトルバス（会場への専用バス）方式が取られた。表-2に会場へのアクセス分担率を示す。この表より平日・休日の差はあまり見られず、また公共交通によるものが約8割と高い比率を示している。

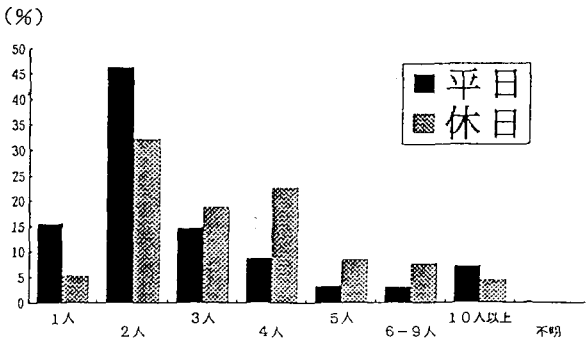


図-1 同伴者数

表-2 会場へのアクセス交通手段(3会場合計)

項目	鉄 道	バ ス	シャトルバス	自動車	観光バス	タクシー	徒歩二輪	不 明
平 日	48.8%	6.1%	27.8%	4.9%	3.2%	3.9%	5.0%	0.0%
休 日	49.5%	4.9%	27.3%	6.8%	2.1%	4.6%	4.7%	0.1%

③代表交通手段 表-3に代表交通手段を示す。

デザイン博では都市型のイベントのため、公共交通機関へ誘導する対策が取られた。集計結果をみると鉄道利用率が最も高く、次いで自動車となっている。休日は平日に比べて自動車利用率が高くなっているが、ほぼ8%くらいの増加にとどまり施策による効果が表れていると考えられる。次ぎに鉄道、自動車の所要時間帯別分担率を図-4-1、図-4-2に示す。鉄道は平日、休日にあまり差が見られず、所要時間に対し緩やかに増加している。自動車はバラツキが見られるが、40分台までは10~20%を推移しているのに対し、50分以上では平日が10%程度なのに比べて休日は20%以上となっており市外からの来場者が休日の方が自動車を利用していることがわかる。

表-3 代表交通手段

代表交通手段	平 日	休 日
鉄 道	70.1%	65.2%
バ ス	4.9%	4.8%
シャトルバス	1.1%	0.4%
自 動 車	13.3%	21.2%
観光バス	3.2%	2.0%
タクシー	2.1%	1.6%
徒歩・二輪	5.0%	4.7%
不 明	0.3%	0.1%

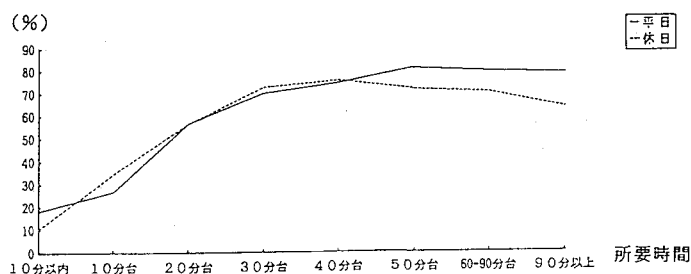


図-4-1 所要時間帯別鉄道分担率

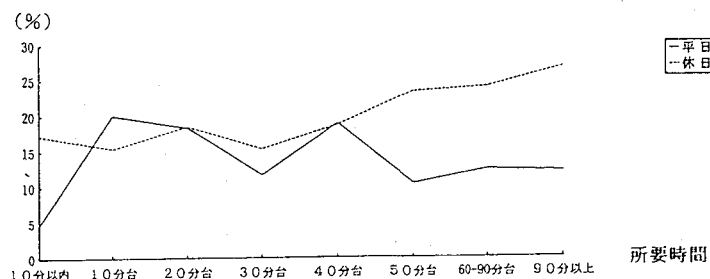


図-4-2 所要時間帯別自動車分担率

4. まとめ 平日と休日との対比という形で集計を行ったが、イベント交通の一面として、個人行動よりグループ行動が多く休日は家族の割合が増えること、交通手段は公共交通を利用する人が多く、自動車は休日に遠方者の利用率が高くなることなどが見られた。今後は、各種の要因分析や夏休み期間中の8月データなども解析していきたい。

〔参考文献〕世界デザイン博覧会協会：世界デザイン博覧会 公式記録、1990

世界デザイン博覧会協会：観客輸送の記録、1990

池田 誠一、浅井 慶一郎、福岡 祥次：イベント交通計画、第44回年次技術講演会、1990